

堺市 SDGs 未来都市計画（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

■実施期間：令和2年12月15日～令和3年1月14日

■意見：23件（11名）

	ご意見の要旨	市の考え方
○計画全体について		
1	これからも大阪市とは合併せずに、堺市としての都市計画を大切にしてほしい。	SDGsの達成に向けて、堺市のめざす将来像やその実現に向けた取組等を本計画に掲げ、着実に推進します。
2	堺の独自性が、計画案では足りないのではないか。総花的に取り組んでも中途半端になりかねない。堺の独自性に関係する項目に絞り、その中で優先順位をつけて取り組み、達成状況等を明確にするべきである。 また、SDGsの認知度がまだまだ低いので広報活動に重点を置いてもらいたい。執行体制の責任部署を早急に明確化してもらいたい。	本計画案の策定にあたっては、本市の持続的発展だけでなく、国際社会の普遍的目標であるSDGsに対して、堺市としてどのような役割を果たすことができるかという視点に立ち、17のゴールと169のターゲットをすべて確認し、一つ一つのターゲットに対して全庁的に取組の検討を行い、新たな計画案として取りまとめました。 本計画の推進にあたっては、毎年度、KPIの達成状況を確認するなど、適切な進捗管理を行います。 また、SDGsの達成に向けては、行政だけでなく、市民や企業、団体など様々な主体が取組を進めることが重要であると認識しており、様々な機会や媒体を活用し、SDGsの普及啓発に取り組めます。 本市の執行体制については、市長を本部長とする「堺市SDGs未来都市推進本部」を設置しており、その事務局を務める市長公室・政策企画部が、本市のSDGs達成に向けた施策全般を総括し、推進する役割を担っています。
○自治体SDGsの推進に資する取組について		
3	・ゴール1「貧困をなくそう」のKPIについて ゴール1のKPIが「児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合」というのは問題がある。なぜなら受給の収入要件の変動で割合が変わり、実態と乖離することがあるからである。 また、「生活困窮者」には子どものいない世帯、特に老々介護・老障介護・ヤングケアラー・ひきこもりや精神障害・知的障害がある家族	本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しており、ゴール1については、貧困率が特に高いひとり親家庭の生活保障、貧困の連鎖解消に関連し、勤労所得の増加や教育費の確保が割合の減少につながる「児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合」を設定しています。 ご意見のとおり、生活困窮の背景には、ひとり親家庭であることだけでなく、障害や傷

	<p>を持つ世帯も多い。家族の介護のため就労が難しく、非正規を強いられ、貧困に陥りやすく、生活保護も受けにくい状況である。</p> <p>「働きたいが働けない、非正規でしか働けない18～64才の割合」もKPIに設定してもらいたい。</p>	<p>病、家族の介護など様々な事情があると認識しています。</p> <p>本計画では、ゴール1の主な取組として、「生活困窮世帯の就労、生活支援(1.2, 1.3)」を位置づけ、各世帯の状況に応じた支援に取り組めます。</p>
4	<p>・ゴール2「飢餓をゼロに」のKPIについて</p> <p>各家庭の食料自給の観点から、市民農園や菜園をしている家庭をさらに増やせるように、市民農園の数や市民菜園の戸数の推移を、KPIに追加すべきである。</p>	<p>ご意見の指標は、ゴール2の達成に資する指標であると認識していますが、本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しており、地産地消の推進など、地域に根差した農業の振興を表す指標として「市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合(概ね6ヵ月以内)」を設定しています。</p> <p>市民農園の整備は、農業に対する市民理解の促進や農地の遊休化防止などにも資するものであることから、今後とも取組を進めます。</p>
5	<p>・ゴール3「すべての人に健康と福祉を」のKPIについて</p> <p>ゴール3のKPIが「健康寿命」だけなのは疑問である。たとえ、病気や障害があっても、その人らしく生き生きと暮らしていることが大切ではないか。</p> <p>老障介護・ヤングケアラー問題・精神障害者や知的障害、中途障害者・身体障害者・難病を持つ人々の地域での暮らしは「健康寿命」では測れない。</p> <p>「障害者がどれだけ親から自立(自律)して暮らしているか」「介護者・ヤングケアラーへの支援ができていくか」が明らかになるKPIを設定してもらいたい。</p>	<p>ご意見のとおり、病気や障害があってもその人らしく生き生きと暮らしていることは大切であると考えています。</p> <p>本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しており、ゴール3については、市民が心身ともに健康で生きがいを持って暮らせることをめざし、「健康寿命」を設定しています。</p> <p>ご意見に関連する主な取組として、「ひきこもり対策の推進(3.4)」「薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進(3.5)」「地域包括ケアシステムの推進(3.8)」を位置づけ、取組を進めます。</p>
6	<p>・指定喫煙所について</p> <p>本計画に記載の「新型コロナウイルスなどの感染症対策の推進(3.3)」、「生活習慣病の啓発、対策の推進(3.8)」、「たばこの危険性の啓発、受動喫煙防止対策の推進(3.a)」に反する指定喫煙所の新設を断念すべきである。</p> <p>また、たばこ産業の関連事業者からの指定</p>	<p>本計画では、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」の達成に向けて、健康づくりの基本的要素の一つとして、禁煙支援と受動喫煙を防ぐことが重要であると考え、たばこの危険性を啓発するなど、市民の主体的な健康増進を促し、健康寿命の延伸をめざすこととしています。</p>

	<p>喫煙所の設置の費用負担を受けることは「たばこ規制枠組条約」に違反している。</p>	<p>指定喫煙所については、路上での受動喫煙防止対策として、関係法令等を踏まえた施設の設置を計画しています。また、各指定喫煙所においては、密を避けて利用することや長時間の滞在を控えるよう促す貼紙等を掲示するなど、新型コロナウイルスの感染予防に、引き続き取り組みます。</p> <p>たばこ産業関連の事業者からの負担によって施設を設置することについては、現在、事業者からの寄附受納を禁ずるような国内法は存在していません。指定喫煙所は喫煙を促進するための施設ではなく、マナーを守るための施設であり、主に路上喫煙の防止やポイ捨ての防止を目的としていることから、事業者からの指定喫煙所の設置の費用負担は「たばこ規制枠組条約」に違反していないと考えています。</p>
7	<p>・ゴール4「質の高い教育をみんなに」のKPIについて</p> <p>全国学力テストの結果をもって、質の高い教育とするべきではない。全国学力テストは順位を競うものではなく、到達度を見るのに限定して使うべきである。児童・生徒数に対する教員数比など他の指標にするべきである。</p>	<p>本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しています。</p> <p>ご意見のとおり、教育は教科学力だけでなく、様々な観点から考える必要があると認識していますが、変化が激しく将来を予測することが困難な社会の中にあっても、子どもが自ら未来を切り拓くためには、教科学力の確実な習得は不可欠であると考え、ゴール4のKPIに設定しています。</p>
8	<p>・ゴール4「質の高い教育をみんなに」のKPIについて</p> <p>全国学力テストの結果をもって、質の高い教育とするのは、全国学力テストを受けられない障害者を「みんな」から除外しているのではないか。教育予算や施設・設備の整備に変更すべきである。</p>	<p>また、本計画ではゴール4の主な取組として、「特別支援教育の推進(4.5)」を位置づけ、今後も障害のある子どもの自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援します。</p>
9	<p>・ゴール4「質の高い教育をみんなに」のKPIについて</p> <p>ゴール4のKPIが「学力調査」とは、どういうことか。障害児者の学びはどうやって測るのか。</p> <p>特に知的や発達に障害があると、育ちがゆっくりで少しのことで折れてしまうため、時間をかけ、環境を整え、自分自身で意思決定で</p>	

	<p>きるように支援する必要がある。</p> <p>KPI には「不登校率の減少」「学ぶ環境が整っていると答える割合（児童・生徒・親）」「いじめが解消する期間の早さ」などを設定してもらいたい。</p>	
10	<p>・学校におけるスロープ等の設置について</p> <p>避難所や投票所となる学校の隅々にスロープや手すりや多目的トイレを整備してほしい。</p>	<p>学校におけるスロープや手すり、多目的トイレ等の整備は、すべての子どもの学びの機会や災害時の避難所等としての機能の確保の観点から重要であると認識しています。</p> <p>本計画ではゴール4の主な取組として、「学校施設のバリアフリー化などの推進（4.a）」を位置づけ、校舎の新築や改築等に合わせ、大阪府福祉のまちづくり条例の定める基準に基づき、スロープや手すり、多目的トイレの整備を進めます。</p> <p>コロナ禍を踏まえたトイレについては、ご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>また、本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しており、ゴール6については、安全な飲料水の供給において、特に重要である避難所や病院などにつながる「水道管路の優先耐震化路線の耐震化率」を設定しています。</p>
11	<p>・非常時の避難所のトイレについて</p> <p>各小学校等にマンホールトイレの設置は進められているが、非常時の避難所において、段があるトイレ、和式のトイレは高齢者、障害者、幼児は使えない。「ユニバーサルデザインのトイレの普及率」をゴール6「安全な水とトイレを世界中に」のKPIに設定してもらいたい。</p> <p>またコロナ禍のため、水がなくても手をふれず1回ずつ処理できるトイレの導入も考えてもらいたい。</p>	<p>本計画ではゴール4の主な取組として、「学校施設のバリアフリー化などの推進（4.a）」を位置づけ、校舎の新築や改築等に合わせ、大阪府福祉のまちづくり条例の定める基準に基づき、スロープや手すり、多目的トイレの整備を進めます。</p> <p>コロナ禍を踏まえたトイレについては、ご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>また、本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しており、ゴール6については、安全な飲料水の供給において、特に重要である避難所や病院などにつながる「水道管路の優先耐震化路線の耐震化率」を設定しています。</p>
12	<p>・支援学校の整備について</p> <p>ゴール10の主な取組で「障害者児及びその家族に対する支援」を掲げるのであれば、劣悪な環境にある百舌鳥支援学校の整備（移転）を計画に盛り込むべきである。</p>	<p>支援学校在籍者数の増加に対応し、教育環境の充実を図るため、平成28年に上神谷支援学校の増築、令和元年度に市立支援学校の通学区域の変更や百舌鳥支援学校プレイルームへの空調設置を実施しました。</p> <p>ご意見も参考に、子どもたちが安心して、落ち着いて学習に取り組むことができるよう、今後も教育環境の充実に努めます。</p>
13	<p>・産業転換と産業育成誘致について</p> <p>コロナと気候変動で今後の世界の在り方が大きく揺さぶられている。社会の在り方の変革と産業経済の転換点に、まったなしで差し掛かっている。政令市として持続的に発展していくためにもポストコロナ時代に備えた産業転換、産業育成誘致を、危機感をもって進めてもらいたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大や気候変動などにより、産業を取り巻く状況が大きく変化中、本市産業が持続的に発展していくためには、イノベーションの創出や民間投資の誘導などを推進し、時代の変化に柔軟に対応しながら、産業の高付加価値化を進めていく必要があると認識しています。</p> <p>本計画では、ゴール7の主な取組として「脱</p>

		<p>炭素に向けた革新的技術に係る投資促進 (7. a)」、ゴール8の主な取組として「成長産業分野などにおける企業の研究開発促進 (8. 2)」ゴール9の主な取組として「産学官連携による新事業創出の促進 (9. 2 , 9. 5)」 「成長産業分野や生産性の向上など競争力を高める投資促進 (9. 2 , 9. 5)」 「ICTなどの先進的企業の立地促進 (9. 5)」を位置づけ、取組を進めます。</p>
14	<p>・ゴール8「働きがいも 経済成長も」の KPI 等について</p> <p>女性の就業率の向上は理解できるが、多様な働き方として女性起業家の育成や創業、障害者や引きこもりの方の社会進出も KPI に設定し、支援すべきである。また、女性の妊娠、子育ての支援や職場復帰に関する KPI も必要である。</p> <p>女性や社会的弱者が家庭や組織で意思決定できる地位を築くための施策を推進する文言を付け加えてほしい。</p>	<p>ご意見の指標は、ゴール8の達成にはいずれも重要であると認識していますが、本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つを KPI に設定しており、ゴール8については多様な人材の活躍を表す代表的な指標として「女性の就業率」を設定しています。</p> <p>ご意見の指標に関連する主な取組として、「創業準備のサポートと創業間もない企業の成長促進 (8. 3)」 「女性、若者、高齢者、障害者など求職者に応じた就労支援 (8. 5)」 「ひきこもりの若者などへの相談支援 (8. 6)」を位置づけ、取組を進めます。</p> <p>また、女性の社会的地位向上に向けては、ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」の主な取組として、「固定的な性別役割分担意識解消の啓発 (5. 4)」 「女性管理職の増加促進 (5. 5)」 「審議会などにおける女性割合の増加促進 (5. 5)」などを位置づけ、取組を進めます。</p>
15	<p>・ゴール8「働きがいも 経済成長も」の KPI について</p> <p>ゴール8の KPI がなぜ「女性の就業率」だけなのか。若者や障害者の就労支援も計画に位置づけ、取り組むのであるから「若者・障害者・女性の就業率」とすべきである。</p>	<p>本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つを KPI に設定しており、ゴール8については多様な人材の活躍を表す代表的な指標として「女性の就業率」を設定しています。</p> <p>ご意見の「若者・障害者の就業率」も、ゴール8の達成には重要な指標であると認識しており、求職者に応じたきめ細かな就労支援に取り組めます。</p>

16	<p>・水上飛行機について</p> <p>かつて堺から始まった水上飛行機を、もう一度堺で導入してほしい。仁徳天皇陵や大阪上空を遊覧できるようにしてもらいたい。</p>	<p>本市が持つ歴史文化資源の魅力や海から発展してきたまち堺を体験できるようなコンテンツを発信することにより、本市の都市魅力を向上させていく必要があると考えています。水上飛行機もその一つとして検討していきます</p>
17	<p>・大阪女子大の跡地の活用について</p> <p>大阪女子大の跡地に、多くの観光客が訪れ、仁徳天皇陵を上から見ることのできる東京スカイツリーのようなものを作ってもらいたい。</p>	<p>百舌鳥古墳群の周辺では、世界遺産にふさわしいまちなみの形成に向け、緩衝地帯を設定し、建築物の高さや色彩などの形態意匠、看板などの屋外広告物に対して制限を行っています。そのため、仁徳天皇陵古墳を上からみることのできる建築物は緩衝地帯の高さ制限を超えるものとなり、建築はできません。</p> <p>一方、大阪女子大跡地を含む大仙公園周辺エリアを、多くの方が訪れる交流拠点としていくため、令和2年3月に策定した「堺・世界遺産魅力創造ロードマップ」に基づき、様々な取組を進めており、展示や最新の映像技術などで百舌鳥古墳群をわかりやすく案内する「百舌鳥古墳群ビジターセンター」が令和3年3月にオープン予定であるほか、百舌鳥古墳群の雄大さを上空から体感いただけるガス気球の試行設置に向けた検討などを進めています。</p> <p>また、宿院の「さかい利晶の杜」では、VR（バーチャルリアリティ）技術で百舌鳥古墳群を上空から眺めることのできる疑似体験ツアーを実施しています（大阪府の緊急事態宣言発令に伴い現在は中止しています。再開は「さかい利晶の杜」のホームページ等でお知らせします）。</p>
18	<p>・ハーベストの丘について</p> <p>ハーベストの丘は老朽化し、活気がなく将来が不安である。アウトレットは集客が見込めるため、ハーベストの丘の横にアウトレットを作ってはどうか。</p>	<p>ハーベストの丘は、平成12年の開園から20年以上が経過し、設備が老朽化しているところもありますが、優先順位をつけながら順次、補修や更新を行っています。また、これまでも新たな施設（イチゴハウス・じゃぶじゃぶ広場）を開設するなど集客を図っており、近年は年間約40万人にご来場いただい</p>

		<p>ています。今後とも、指定管理者と協議しながら、より多くの方に訪れていただけるよう施設の魅力の向上に努めます。</p> <p>一方、ハーベストの丘周辺の南部丘陵の緑地は、まとまった山林であり、動植物の生息・生育空間としても重要な役割を担っているため、緑地として保全すべき地域であると考えています。そのため、現時点ではアウトレットの誘致は検討していません。</p>
19	<p>・ゴール10「人や国の不平等をなくそう」のKPIについて</p> <p>主な取組に「障害者児及びその家族に対する支援」があり感謝します。埼玉県では「ケアラー支援条例」が2020年に施行されたので、ぜひ堺で取り組んでもらいたい。</p> <p>ゴール10のKPI「堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っていると答えた人の割合」は、「自分はどう思い、どう関わっているか、能力を発揮できる環境か」を聞いてもらいたい。</p>	<p>障害者児とその家族が心豊かに安心して暮らせるためには、障害者児を支える介護者に過重な負担がかからないように支援していく必要があると認識しています。今後とも、相談支援体制や障害福祉サービスの充実など、取組を進めます。</p> <p>また、ゴール10のKPIは、区別人口比・性比に合わせ無作為抽出した市民を対象に実施する市民意識調査により把握します。過去の調査結果との経年比較により達成状況を把握する必要があるため、KPIに掲げた質問の変更は困難ですが、ご意見は参考にさせていただきます。</p>
20	<p>・ゴール11「住み続けられるまちづくり」のKPIについて</p> <p>ゴール11のKPI「緊急交通路等における橋梁の耐震化率」だけなのか。</p> <p>避難所で過ごせない障害者（特に医療的ケア）への支援システムがあること、電源やユニバーサルトイレが必要な所に移動できること、備蓄の食料が全てアレルギー除去食であることなどからはじめてもらいたい。</p> <p>KPIは「緊急時、自分はどこに行き何をするべきかを知っていると答えた人の割合」というのはどうか。</p>	<p>本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つをKPIに設定しており、ゴール11については、災害時に迅速に緊急輸送活動や応急活動を行うための路線である「緊急交通路等における橋りょうの耐震化率」を設定しています。</p> <p>避難所で過ごせない障害者など様々な方への配慮を含め、ご意見いただいた内容は、いずれも重要であると認識しています。</p> <p>避難所の環境整備など、今後とも様々な方に配慮した災害対策を進めます。</p>
21	<p>・環境破壊への影響が懸念される電子機器等の生産工程に関する啓発や学習について</p> <p>電子機器等には多くのレアメタルが使われており、海外の採掘場所では、開発行為による環境破壊や健康被害などが問題となっている</p>	<p>経済と環境が調和した都市の持続的発展を実現するためには、市民や企業などすべての主体が環境問題を真剣に考え、環境に配慮した行動を行う必要があると認識しています。</p>

	<p>る。</p> <p>電子機器や工業製品における部材調達からリサイクルまでの工程について、市民への啓発や学校での学習を実施してほしい。</p>	<p>本計画では、ゴール 12 の主な取組として、「グリーン調達の推進 (12.7)」を位置づけ、市として環境負荷ができる限り低減された物品等の優先的な調達に努め、市民等に対してもグリーン調達が推進されるよう普及啓発に取り組みます。また、同じくゴール 12 に「環境に配慮した行動の促進 (12.8)」を位置づけ、市民への啓発や環境学習など、各主体の行動変容を促す取組を進めます。</p>
22	<p>・ゴール 14「海の豊かさを守ろう」の KPI について</p> <p>プラスチックゴミはレジ袋だけではない。コロナ禍でプラ容器も増え、マスクやティッシュのゴミも増えている。川のゴミや下水に着目すべきだと思う。</p>	<p>本計画では、ゴールごとに、特に重要と考えられる指標一つを KPI に設定しており、ゴール 14 については、最も身近なプラスチック製品のひとつであり、海洋プラスチック問題への意識や行動変容が表れる「レジ袋辞退率」を設定しています。</p> <p>ご意見のとおり、プラスチックごみはレジ袋だけではなく、コロナ禍においてテイクアウトの拡大や衛生面への配慮から様々な使い捨てプラスチック製品の需要も高まっていると想定されます。本計画ではゴール 14 の主な取組として、「民間事業者や近隣自治体と連携した海洋プラスチック対策の推進 (14.1, 14.5)」を位置づけ、リユース食器の導入促進など、必要のない使い捨てプラスチック削減に向けた取組を進めます。</p>
23	<p>・落書きの防止について</p> <p>犯罪のない平和な社会の実現につき、堺市内に於いて悪質な「落書き」が目立ってきている。たかが「落書き」といえど立派な犯罪である。街中の悪質な「落書き」は犯罪を誘発する一因ともなる。犯罪のない街を目指し、街中の落書き防止に対しても鋭意、取り組んでもらいたい。</p>	<p>ご意見のとおり、落書きは、まちの美観を損なうだけでなく、治安の悪化などに繋がる恐れもある悪質な行為であると認識しています。</p> <p>市民、事業者、警察等と連携・協働しながら、防犯環境の整備や防犯に関する各種啓発活動を推進し、落書きも含め、犯罪のない平和な社会の実現をめざします。</p>